

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。
 ※帰国後1か月以内に提出(送信)してください。
 ※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	南京大学海外教育学院	氏名	
国名	中華人民共和国	学籍番号	
留学期間	2021年 3月 ~ 2021年 12月	記入年月日	2022年 1月 2日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: 中国語			
科目名	総合 (2021年春 初下班)	科目名	听说(2021年春 初下班)
授業内容	中国語の文法を学習する授業。教科書の長文を読み、新出文法事項を学んだ。	授業内容	中国語のリスニング、スピーキング力を向上させるための授業。授業中には教科書の音読を中心にを行い、宿題でリスニング問題を解いた。
授業形式	基本的に教科書に沿って行われた。まず初めに単語の学習を行ってから長文を読み、その後文法事項の学習を行った。	授業形式	基本的に教科書に沿って行われた。まず初めに単語の学習をし、その後長文の音読練習を行い、文法の解説を聞き、長文に関する問題を解いた。
単位数	週5	単位数	週5
サイズ	3人	サイズ	3人
難易度 Course No.	初下	難易度 Course No.	初下
宿題の量	普通。授業後に授業中に習った文法事項を用いて文章を作り、それを先生に添削していただいていた。宿題とは別に2日に1回単語の聞き取りテストがあった。単語テストのための勉強がそれなりに大変だった。	宿題の量	少なめ。読解問題やリスニング問題が中心。多い日でも30分あれば終わる量。
コメント	テキストの本文は中国の文化や風習に関するものが多かったため、言語の勉強を通じて、中国についてより詳しく知ることができた。授業としては、文法メインのクラスではあったが、クラス全体の人数が3人と少なかったために、スピーキングの練習も十分にさせてもらった。	コメント	クラス的人数が3人と少なかったため、発音の間違いに関しては徹底的に指導してもらえた他、ちょっとしたピンインの間違いも細かくきちんと読めるようになるまで何度も繰り返し指導してもらえた。また、テキストの内容が中国の現代社会の問題に通ずるようなものが多く、その発展で同級生の国(ドイツ・カザフスタン)の内部から見た国政状況を知ることができたり、自分自身にとっても日本を今まで見ていなかった観点や角度から見つめなおす機会になった。
科目名	総合 (2021年秋 中下班)	科目名	口语 (2021年秋 中下班)
授業内容	文法を中心に学ぶ授業。長文を読み、そこから新出の文法事項を学んだ。	授業内容	スピーキングの授業。音読のみならず、生徒が自分の言葉で話せるようになるための授業。
授業形式	基本的に教科書に沿って行われた。まず初めに単語の学習を行ってから長文を読み、その後文法事項の学習を行った。	授業形式	教科書もあったが、教科書に則って行うというよりは、全員が自分の言葉で話す練習をするために、各々が自国のニュースを中国語に訳して発表することもあれば、自国の文化を中国語で紹介することもあった。
単位数	週4	単位数	週3
サイズ	20人	サイズ	20人
難易度 Course No.	中下	難易度 Course No.	中下
宿題の量	少なめ。宿題が無い日もあった。基本的には授業の予習を少し進めておくこと、授業に関するトピックの作文を提出したり、ビデオを見たりした。	宿題の量	普通。宿題が一切ない日もあれば、ニュースを中国語に訳して発表するといったかなり大変な宿題もあり、日によってかなりばらつきがあった。ただし、大変な宿題は予め通知をしてくれたり、大きな課題がある直前などは宿題が無かったりと、宿題の量を調整して下さったため、毎日30分ずつ頑張れば十分終わらせられる量ではあった。
コメント	文法メインの授業であった事もあり、文法はもちろんのこと、単語や成語に関しても事細かに用法や実用例を教えてもらった。特に類義語の解説については例文をいくつも学ぶことで徹底的に語句の違いを学ぶことができた。また、教科書の長文の内容からの派生で教科書には載っていないようなネットスラングや最近になって必需品へと変化してきたようなものの名前なども学べたため良かった。	コメント	授業中に新出単語を学ぶ時間はほとんどなかったため、分からなければ自分で逐一辞書を引き覚えなければならなかったのが大変だった。特に文法事項に関しては授業内で一切触れないため、個人で勉強をするほかなかった。また、振替出勤日などで出席できない生徒が多いといくつかインターネット上のビデオのリンクが送られてきて、それを見ておくようにというだけの形のオンデマンド授業になることもあり、個人的には物足りなく感じた。

科目名	写作(2021年秋 中下班)	科目名	听力(2021年秋 中下班)
授業内容	作文の授業。授業時間2時間のうち、前半一時間は特定のトピックに関する作文内で類出の単語や成語、フォーマットについての学習を行い、後半一時間は実際に作文を書いてみる形式。授業時間内で書き終わらなかった分に関しては宿題となり、翌週の授業時間前までにメールで提出する必要がある。	授業内容	リスニングの授業。まず初めに進出単語を学習し、その後長めのリスニング問題を聞いて問題演習を行う。音源は一個だけだが、問題は大問3個分あり、後ろの方の問題に進めば進むほど、より細かいことを聞かれるため、難しくなっていた。
授業形式	先生が作成してきてくださったPDFに則って行われた。教科書等は特になく、授業後に復習が別途必要な場合には、先生が送ってくださったPDFを見ながら復習、宿題を行った。	授業形式	教科書に則って行われた。リスニング音源に関して授業後に先生が送ってくださる為、復習を行いたかったり、分からないところがあったりする場合には再度個人で聞き直した。
単位数	週1	単位数	週2
サイズ	10人	サイズ	10人
難易度 Course No.	中下	難易度 Course No.	中下
宿題の量	普通～多め。毎週400字程度の作文を書く必要があった。毎週日曜日の日付が変わる前にメールで提出する必要がある。	宿題の量	少なめ。毎回授業時間中に習った単語の穴埋め問題に取り組んだ。
コメント	普段テキストにはなかなか載っていないような手紙やe-mailなどの書き方を学ぶことが出来たことが良かった。	コメント	その場で学んだばかりの新出単語を聞き取らなければならぬのがなかなか大変だった。けれども、教科書の構成がよく、結果的に何度も同じリスニング問題を聞くことができるため、リスニング力が高くななくても授業にしっかりと付いていく事が出来た。
科目名	新闻(2021年秋 中下班)	科目名	
授業内容	ニュースの授業。まず初めに、生徒全員がそれぞれ直近一週間で気になったニュースを少しずつ紹介し、その後全員で先生が準備してくださった中国語のニュースを読む。また、時間があるときには中国語のニュース記事に関連する動画を見ることもあった。	授業内容	
授業形式	先生が作成してきてくださったPDFに則って行われた。教科書等は特になく。PDFの内容は、中国国内の新聞記事とそれに関連する動画である。	授業形式	
単位数	週1	単位数	
サイズ	10人	サイズ	
難易度 Course No.	中下	難易度 Course No.	
宿題の量	少なめ。毎週気になる日本のニュースを中国語で3文程度に収まるように翻訳。	宿題の量	
コメント	他の科目と異なり、中国語の新聞記事ニュースの記事をそのまま持ってきてくださる為、単語がどれも難しく、授業についていくのがなかなか大変だった。けれども、中国語のニュースを読むだけでなく、毎週クラス全員が自分の国のニュースを宿題としてまとめて来ているため、スピーキングの練習にもなったほか、世界中で今何が起きているのかをその国の内部からの視点で知ることができた。	コメント	
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	

2	<p>授業において困ったこと、その解決法について教えてください</p> <p>津田塾大学のようにオンデマンド録画が無かったこと。機材トラブルやネット環境が悪くなってしまうと、どうあがいても授業に参加することが出来なくなってしまうため、機材の買い替えを行ったほか、1クラスの人数が少なく、先生や同級生の理解を得られそうな場合にはダメもとで打診をし授業時間を振り替えてもらった。</p>
3	<p>授業以外の活動についてお書きください</p> <p>休暇期間中に中国語を忘れないためにも、また他国の文化を知るためにも、一学期終了後(夏休み中)と津田塾大学復学までの期間(冬休み・春休み中)に先生1名、同級生1名とともに週に1度、一時間ほど毎週テーマを決めてお互いの国の文化、風習、観光名所、祝日、民族衣装等を紹介し合った。 また、同じく休暇期間中には、私が中国語を学ぶきっかけとなった中国人の友人と中国語で電話をすることが出来た。</p>
4	<p>寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください</p> <p>寮(またはアパート、フラット)名とその場所 オンラインの為特になし</p> <p>設備についての簡単な説明 オンラインの為特になし</p> <p>部屋について _____ 人部屋 広さ _____ 畳くらい ルームメートについて オンラインの為特になし</p> <p>寝具や生活用品の入手方法 オンラインの為特になし</p> <p>生活の感想 オンラインの為特になし</p>
5	<p>食事についてコメントを書いてください</p> <p>オンラインの為特になし</p>

6	医療保険についてお書きください	
	渡航前に加入した保険 オンラインの為特になし	
	留学先大学にあった医療保険制度 オンラインの為特になし	
	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください) オンラインの為特になし	
7	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)	
	(現地通貨)	
	渡航旅費	円
	帰国旅費	円
	引越し(往復で)	円
	保険	円
	語学研修費	円
	留学先学費	290,000 円
	本学学費	200,000 円
	教材費	円
	住居費	円
	食費	円
その他()	円	
()	円	
()	円	
合計	490,000 円	
換算率 (1元 = 17 円)		
受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください		
津田塾大学(給付:29万円)		
8	留学前の準備について教えてください	
	日本から持参すべきもの オンライン授業の為特になし	
	留学前にしておけばよかったこと	
	しておけばよかったこと ・中国語の勉強。特に中々教科書には出てこないような日常会話のための単語や表現をもっと沢山覚えておくべきだった。また、単語のインプットをより沢山しておくべきだった。 ・英語の資格取得。留学している1年間はほとんど英語に触れる機会が無く、特にスピーキングに関しては能力が著しく低下したように感じた。留学開始前の普段の授業を通じて培った英語力を存分に発揮できるうちに、資格として自分の英語力を示せるものを取っておくべきだった。 しておいてよかったこと ・就活。3年生の4月から学年末まで留学し、翌年4年生として復学する予定だったため、2年生の内から企業説明会に参加できる限り参加していた。実際留学が始まってからは、企業説明会に参加している余裕など一切なかったため、早め早めに準備を進めておいて良かったと思う。	

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>(生活面)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米圏のクラスメイトが授業に参加できるようにするため、授業が日本時間午後3時から始まり、遅い日は午後9時半まで続いたこと。授業後に宿題や授業の復習をすることが中々大変だった。 ・祝日や振替出勤日といった日本とのスケジュールのずれが発生すること。また、津田塾大学のように学校のHP等に祝日や授業日が表記されているわけでもなく、先生から前日に口頭で伝えられることが多かったため、慣れるまでは大変だった。ネット上で調べれば中国の年間行事表もすぐ見つかるため、不安な場合はあらかじめ調べておいた方がよい。 ・祝日を含め基本的に全ての連絡が直前であったこと。また、重要なことも基本的に口頭での連絡のみであることが多かったこと。中国語の聞き取りといった面でも苦労した。 <p>(学習面)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は兎に角中国語を話すこと・聞くことに全く慣れていなかったために授業についていくことや宿題が何かを聞き取ることすらもおぼつかなかったこと。 ・全てのことにおいて主体性が求められたこと。授業中も指名されること日本よりも圧倒的に少なく、中国語の音読などを行い先生に自分の発音を見てもらうには自ら進んで手を上げなければならなかったこと。
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>(学習面)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見や考えていることを述べられるくらいには中国語が上達した。(1学期中にHSK3.4級合格、夏休み中にHSK5級合格、2学期中にHSK6級合格) ・日本の政治動向により一層注意を払うようになった。 ・中国はもちろん、それ以外の国との対外関係やその国の国内情勢について調べるようになった。 ・日本の文化や歴史に興味関心を持つようになり、少しずつ勉強をするようになった。 <p>(精神面)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインという現地に行くよりも先生や生徒との距離が遠くより一層積極性が求められた環境において失敗を恐れず果敢に挑戦できる精神力を身につけられた
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>現時点では大学院に進学し、修士課程修了時点で就職することを検討中である。大学4年生のゼミ論や大学院ではこの一年間で学習した中国語の知識を最大限に活かし日英中を中心に言語学方面の勉強や研究を行いたいと考えている。就職に関しては現時点では中国語とは関係ない業界を検討しているが、もし希望している業界内やそれと関連する方面で中国語が役に立ちそうな会社や仕事、業種があるようであれば積極的に挑戦したいと思う。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>大学4年間はあっという間に過ぎ去ります。「いつかやればいいのか」という考えでは後から後悔することになると思います。是非限られた時間の中で自分が本当にやりたいことを大切にしてください。そして、その夢の実現に向けて主体的に動いてみてください。</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p>

※本報告書は国際センターホームページに掲載します。下記のいずれかに✓をしてください。

国際センターホームページへの報告書の掲載を

(許可する(写真含む) 写真掲載のみ不可 許可しない)

※Web掲載を許可する場合は、報告書は手書きではなくパソコン入力してください。
ホームページに掲載する際は、個人情報(学籍番号および氏名)は非公開とします。



(1枚目)留学先で知り合ったドイツ人の友人から送られてきたお菓子



(2枚目)1学期のクラス集合写真